

佐倉市民オンブズマン情報 第64号

2014年 5月15日 発行：佐倉市民オンブズマン TEL&FAX043-485-5999

目次	
1頁	佐倉市政の問題点 ソーラー発電を自分で作ろう 反原発集会への参加 佐倉市民オンブズマンの 取組方針
2頁	定例議会概要 議員報酬及び活動事業 戦没者慰霊碑を考える 職員採用試験の問題点

佐倉市政の問題点

佐倉市政の問題点を指摘したい。市は誠実に市政に取組み、市民の生活向上に努力すべきである。

◆大震災への備え

東日本大震災から3年が経過するが、その爪痕はまだまだ深い。市民にとって今後の震災への備えは極めて重要である。震災対策などの各地方自治体予算を確保するために、各地方自治体にも7.8%の給与減額を国は求めた。

◆職員採用試験結果

佐倉市は給与減額に対し、国には「検討する」と回答しながら、検討もせず(左下の文書参照)、減額を行わなかった。国に虚偽の報告をしたと考えられる。市民にとっては残念である。震災の復興対策として、国家公務員は7.8%の給与削減を行った。全国的には、73%の自治体も削減したが、佐倉市は検討もせず減額を行なわなかった。また、市長は自分の会社で「墓地の不足は必至」と言い、議会では「墓地は足りている」と矛盾したことを市民に言っている。

◆職員給与

佐倉市民オンブズマンは特別職も含めた職員給与を毎回問題にしている。

公文書不開示決定通知書	平成26年4月15日
佐倉市長 印	
3月31日付けの開示請求について、次のとおり開示文書の全部を開示しないことを決定したので通知します。	
公文書の件名	東日本大震災に関する公務員給与の減額についての文書のうち、佐倉市での検討方法及び検討結果文書
開示をしない理由	開示請求に係る文書は、作成しておらず、存在しないため。
所管課等	総務部総務課 電話 043-484-6104

給与を検討しなかった結果を示す文書(抜粋)

◆ソーラー発電を自分で作ろう

再生可能エネルギーの固定価格買取新年度単価が決まり、国のエネルギー基本政策では、原子力発電がベースロード(基幹発電)と位置付けられました。しかし、原発の発電単価は事故、廃棄物保管から割高になります。安価なソーラー発電を自分で作りましょう。



電力(kWh)の買取価格は12年度から税別で、40円、36円、32円(10kw未満は税込37円)と毎年下がってきています。しかし、固定価格制度を利用せずに電力会社に販売すると、10円未満(9円98銭)となり、まだまだ固定価格は高値です。既存発電所(石炭、ガス)の発電電力単価は現在約10円で、家庭での消費単価は基本料込みで30円程度です。それゆえ、20円は電力会社の発電以外の費用です。自宅のソーラー発電単価が30円になれば、電力会社からの購入単価と同一(グリッド・パリティ)になります。

ソーラー発電には個人での取組み(自分で組み立てる)も行われています。個人で、ソーラー発電を作りたいたいとお考えの方は、下欄にご連絡ください。一緒に勉強し、少しでも自力で発電し、原発が不要な社会を作りましょう。小型風力発電も身近になっていきます。

これまで、官官接待の追及、税金の無駄遣い防止、職員給与の是正、入札改革、新庁舎建設反対、環境問題、原発問題、官民格差是正などに取り組んできました。今後も変わらずに次のように取り組んでまいります。

佐倉市民オンブズマンの取組方針

1. 人権保護
 - ①市民の権利を確立し、市民主権を実現し、住民自治を進め人権を守る。
 - ②自由、平等、平和を目指す。
 - ③市民の幸福、安心を優先し、経済成長を最優先とはしない。
2. 情報公開他
 - ①情報公開を進め、税金を市民の生活向上のために使い無駄遣いを無くす。
 - ②市の基金、市社協、商工会議所等の情報も公開する。
 - ③議会の情報公開を進め、議会に調査委員会を常設する。
3. 格差是正
 - ①官民格差、経済的格差、男女の格差等を無くしてゆく。
 - ②公務員ポストは都度公募とする。
4. エネルギー
 - ①持続可能なエネルギー政策を進め、脱原子力発電を実現し、環境を保護する。
5. 地方分権
 - ①市民参加条例制定の検討をする。
 - ②地方政治も比例代表制選挙を目指し、政治への参加者を増やす。
 - ③勤労者も立候補できるように、議会は夜間、土日に開催する(平日の日中は開催しない)。そして、地方議員の姿(ボランティア化等)に関し前向きに検討してゆく。



代表 藤崎良次

◆反原発集会への参加

最近の反原発集会には、大勢の人が参加し、日比谷公園、首相官邸前、国会議事堂周辺などで行われる。私達も3月9日の集会に、「佐倉市民オンブズマン」のノボリを掲げて参加した。そのノボリを見た何人もの方から、「佐倉から来たのですか?」と話しかけられ思わぬ交流が



国会議事堂前で

オンブズマンとは

「行政苦情の解決や行政の適正運用、人権保護のために行動する人」です。各種の御相談は下記連絡先にどうぞ。一緒に活動できる方もご連絡ください。

定例議会(2月24日、3月25日)概要

市長提出議案は新年度一般会計予算、国民健康保険等6特別会計予算、下水道、水道事業会計予算、平成25年度一般会計等補正予算。条例関係では手数料への消費税増額が3件、「一般職員給与与一部改正」は55歳以上の定期昇給停止と昇給を2号給から1号給に抑制するもの、草ぶえの丘年間バスポート設定、市営住宅への入居者対象は交際相手からの暴力被害者も含める事などが提出された。陳情は議員の期末手当の廃止または減額等、議会のあり方に関するもの3件。(すべて不採択)

議会の議案から

①平成26年度一般会計予算
一般会計約473億円(H25年度当初予算比約50億円増)、6特別会計合計約314億円(下水道事業特別会計を除く前年度比23億円増)、合計約787億円(前年度比約10%増)と

Table with columns for council members (松原, 新社会党, 共産党, 市民ネット, 民主党, みんなの党, 公明党, さくら会, オンブズマン, 全体) and rows for various council items (H26年度佐倉市一般会計予算, 陳情31, 陳情32, etc.)

なる。歳出中で構成比の高いものは民生費約37%(約177億円・国民健康保険特別会計、介護保険特別会計等への繰出経費、生活保護費等給付事業、後期高齢者医療広域連合負担金、保育園入園委託等)、教育費約17%(約82億円・小中学校の耐震化費用、志津公民館整備、佐倉小給食室改修等)、総務費約17%(約60億円・本庁舎耐震補強工事、志津駅南口自転車駐車場耐震工事等)。

議員報酬及び活動事業(予算年額3億円)
1 議会開催時の交通費の支給
現在、政務活動費(議員への補助金で年額一人48万円)では、ガソリン代50%の支給を認めている(個人利用を半分と仮定し50%の補助率)。議員は車通勤が多く、車通勤の場合には、結果的に交通費(電車代等)とガソリン代の二重払いになりやすい。

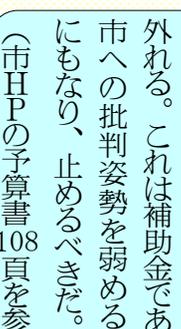
2 議員期末手当
(年額5850万円)
議員の期末手当(ボーナス)には、20%の割増がついている。この割増は法的にも根拠がなく支給は不要と考える。

3 政務活動費
(年額1296万円)
この政務活動費は、ガソリン代、新聞代、広報費などに使われている。公私の区別がつきにくい面もあり、交通費は二重払いとなりやすい。

4 議員への互助会費(議員厚生事業として補助金年額20万円)
互助会費と称して、議会へは補助金が支出されている。議員は各会派・個人が意見を闘わす場所である。その議会で、仲良く互助会費を受け取ることは議会本来の趣旨から外れる。これは補助金であり、市への批判姿勢を弱めることにもなり、止めるべきだ。(市HPの予算書108頁を参照)



議員 上ノ山 博夫



②「損害賠償額」の決定及び和解

戦没者慰霊碑を考える

◆成田市では、S51年4月15日に、戦没者慰霊碑を宗吾霊堂内に寄付で建立し、戦没者名を刻んでいる。『この碑は郷土の英霊九百余柱を合祀すべく市民の総意をもって建立したものです。願わくば、英霊はこの地に永久に鎮まり給いわがふるさと成田を守護されると共に人類の理想とする世界恒久平和の顕現と邦家の隆盛と遺族の繁栄を加護されんことを』と記している。



成田市 慰霊碑

Table showing examination results for the 3rd round of interviews. Columns include candidate name, scores for various tests, and final status (e.g., '以上合格').